

SDGs 宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和1年11月7日

| 事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿 | | |
|---|--|--|
| 昔ながらのOTSUKEMONOを広めて行く | | |
| 事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動 | | |
| 環境を守る為の商品作り・地域貢献できる商品作り | | |
| 各目標に関連する取組内容 | | |
| ゴール | これまでの取組 | 来年度の取組目標 |
|  | 自社農場で農薬を使用しない「炭素循環農法」での取組み。2.1 | 炭素循環農法を行い生産を増やして行く |
|  | 添加物を極力使用しない商品の作成3.1 | 添加物不使用の自社ブランド「このもの」の更なる販路拡大を行い昨対120%を目指す |
|  | 常に美味しい商品を開発し負の資源を資源に切り替える、廃棄されていた小メロンを商品化に取り付けた8.4 | R2年には地域課題となっている放置竹林を食べる事により資源に切り替え経済成長と環境悪化の分担を図る |
|  | 地域活性の一つとして地産地消の推進の継続9. b | 地産地消の永続的継続を実行し静岡県内大学との産学交流を必ずやる |
|  | 地域貢献できる商品作り・受け継がれた日本の味11. b | 幼竹加工により竹林整備をし、効果的な対応のための災害準備の強化と回復・復旧・復興に向ける。 |
|  | 地産地消に力を入れ袋井とうもんの里と一社一村を締結し続けている。12. b | 地産地消にさらに力を入れるため静岡県産水煮メンマの発売をR2年5月から行い初年度は1000万を目指す |
|  | 竹林整備計画の宣言13. 3 | 竹害被害を食べる事で減らす事を食を通じ発信し続け、最終的には気候変動の緩和につながる竹林整備を行う |
|  | 竹林整備計画の宣言15. 4 | 竹になる前の幼竹を買取り山の単純化を起こしてしまっている竹を整備し山地生態系を保全を行う |
|  | 海外輸出のセミナー商談会に積極的に参加する17. 11 | 輸出向けの商品作成の為、賞味期限を延ばす作成技術を磨く |
| その他 | | |

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

| | | |
|-----------|---|-------|
| 事業所・団体名称 | 株式会社 季咲亭 (本社が届け出る場合はその事業所の数) | |
| 業 種 | 3. 製造業 | |
| 代表者 職・氏名 | 職 名 | 代表取締役 |
| | 氏 名 | 小泉幸雄 |
| 所 在 地 | 〒420-0816 静岡県葵区沓谷5丁目1番地6 | |
| U R L | https://kisakutei.com/ | |
| 従業員（構成員）数 | 男性 <u> 5 </u> 人 女性 <u> 8 </u> 人 計 <u> 13 </u> 人 | |